

平成 30 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

生徒指導論

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 近年、教育政策形成において、客観的なエビデンス (evidence) が求められるようになってきている。リテラシー (literacy) を測定しようとする OECD の PISA はそうした教育エビデンスの 1 つと言えよう。しかし、PISA は単一かつ特定の視点に基づいた評価によって教育の標準化を進めるものとの批判が出されており、共通の尺度に基づいたリテラシーや学力の国際比較に意味があるのか、各国の教育における価値と文化の多様性を抑圧することにならないのかが問われている。PISA の結果に対する OECD 諸国の反応やその他の関連する事象に触れつつ、PISA の功罪について、さらには客観的なエビデンスの可能性と課題について述べなさい。

問題 2 次の語句のなかからひとつを選んで簡潔に説明しなさい。選択した語句の番号を明記のこと。

1. 「パフォーマンスティビティ」(行為遂行性)
2. 「修復的司法」(Restorative Justice)
3. 「ジャスト・コミュニティ」(L: コールバーグ)

問題 3 今日の学校において、生徒(生活)指導は多くの課題を抱えていると言われている。回答者の考える課題を記述した上で、生徒(生活)指導において、生徒の消費・文化生活に注目することの意義について、自分の考えを述べなさい。

## 平成30年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

### 教育思想

(250点満点)

以下の問題1～問題3のすべてに答えなさい。

- 問題1 近年、教育政策形成において、客観的なエビデンス (evidence) が求められるようになってきている。リテラシー (literacy) を測定しようとする OECD の PISA はそうした教育エビデンスの1つと言えよう。しかし、PISA は単一かつ特定の視点に基づいた評価によって教育の標準化を進めるものとの批判が出されており、共通の尺度に基づいたリテラシーや学力の国際比較に意味があるのか、各国の教育における価値と文化の多様性を抑圧することにならないのかが問われている。PISA の結果に対する OECD 諸国の反応やその他の関連する事象に触れつつ、PISA の功罪について、さらには客観的なエビデンスの可能性と課題について述べなさい。

問題2 コンドルセ (Marie Jean Antoine Nicolas de Caritat, marquis de Condorcet) に関して次の1～3の問いに答えなさい。

1. 生没年 (西暦) の組合せとして正しいものを次のア～エより選び、その記号を答えなさい。

ア 1592年生—1670年没

イ 1632年生—1704年没

ウ 1712年生—1778年没

エ 1743年生—1794年没

2. コンドルセの公教育論の概略について説明しなさい。

3. コンドルセの公教育論が有する教育思想史上の意義について論じ、現代の公教育制度にどのような影響を与えているかについて指摘しなさい。

問題3 次の1～4にあげた語句から二つを選択し、教育思想史という観点から解説しなさい。なお選択した記号を明記すること。

1. 規律・訓練 (discipline)

2. 宗教改革

3. 印刷術

4. 近代情愛家族

平成 30 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

教育行政学

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 近年、教育政策形成において、客観的なエビデンス (evidence) が求められるようになってきている。リテラシー (literacy) を測定しようとする OECD の PISA はそうした教育エビデンスの 1 つと言えよう。しかし、PISA は単一かつ特定の視点に基づいた評価によって教育の標準化を進めるものとの批判が出されており、共通の尺度に基づいたリテラシーや学力の国際比較に意味があるのか、各国の教育における価値と文化の多様性を抑圧することにならないのかが問われている。PISA の結果に対する OECD 諸国の反応やその他の関連する事象に触れつつ、PISA の功罪について、さらには客観的なエビデンスの可能性と課題について述べなさい。

問題 2 戦後日本の教育制度はいかに教育の自主性を確保しようとしたか、関連する法制に触れながら説明し、また論点をいくつか取り上げて論じなさい。

問題 3 教育制度に関する以下の 5 つの用語のうち、2 つを選んで説明しなさい (選択した問題番号を明記のこと)。

1. チャータースクール (charter school)
2. 認可外保育所
3. 生活困窮世帯の子どもの学習支援事業
4. 学校選択制度
5. 中央教育審議会

## 平成 30 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

### 学校経営論

(250 点満点)

問題 1 近年、教育政策形成において、客観的なエビデンス (evidence) が求められるようになってきている。リテラシー (literacy) を測定しようとする OECD の PISA はそうした教育エビデンスの 1 つと言えよう。しかし、PISA は単一かつ特定の視点に基づいた評価によって教育の標準化を進めるものとの批判が出されており、共通の尺度に基づいたリテラシーや学力の国際比較に意味があるのか、各国の教育における価値と文化の多様性を抑圧することにならないのかが問われている。PISA の結果に対する OECD 諸国の反応やその他の関連する事象に触れつつ、PISA の功罪について、さらには客観的なエビデンスの可能性と課題について述べなさい。

問題 2 学校運営協議会制度 (コミュニティ・スクール) の成果と課題について、これまでに何が論じられてきたか。数名の論者の議論を取り上げ、それらを整理して記述しなさい。また、これまでの議論を受けて、あなたが考える同制度の今後の課題についても論じなさい。

問題 3 日本の教育制度および学校経営に関する以下の 4 つの用語のうち 2 つを選び、それぞれを説明しなさい。(選択した用語の「番号」を明記すること)

1. 教育課程特例校制度
2. ルース・カップリング論
3. 学校支援地域本部
4. ユースワーカー

平成30年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

比較高等教育論

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 課題文を読み、問1および問2に答えなさい。

課題文

出典：ILO/UNESCO「教員の地位に関する勧告」（1966年10月5日。教員の地位に関する特別政府間会議採択。日本政府仮訳。原文：ILO/UNESCO, *Recommendation concerning the Status of Teachers*）

問1 下線部(1)および下線部(2)の内容が教員の責務および教員の権利として重要だとされるのはなぜか。あなたの考えを述べなさい。

問2 下線部(1)および下線部(2)の内容に照らして、現代の生涯学習の課題は何か。論じなさい。

問題2 高等教育のグローバル化と市場化の影響及び諸問題について、具体的な国や事例を挙げながら論述しなさい。

問題3 次の語句のなかから二つを選んで説明しなさい。選択した問題番号を明記すること。

1. 高等教育のユニバーサル化
2. 世界大学ランキング
3. 高大接続
4. 大学の機能別分化

平成 30 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

社会教育学

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 課題文を読み、問 1 および問 2 に答えなさい。

課題文

出典：ILO/UNESCO「教員の地位に関する勧告」（1966 年 10 月 5 日。教員の地位に関する特別政府間会議採択。日本政府仮訳。原文：ILO/UNESCO, *Recommendation concerning the Status of Teachers*）

問 1 下線部(1)および下線部(2)の内容が教員の責務および教員の権利として重要だとされるのはなぜか。あなたの考えを述べなさい。

問 2 下線部(1)および下線部(2)の内容に照らして、現代の生涯学習の課題は何か。論じなさい。



問題2 成人教育と地域社会教育の共通性と差異について述べなさい。

問題3 次の語句の中から2つを選んで簡潔に説明しなさい。選択した番号を明記すること。

1. 社会の自己指導
2. リカレント教育
3. キー・コンピテンシー
4. アーティスト・イン・レジデンス

平成30年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

高等継続教育

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 課題文を読み、問1および問2に答えなさい。

課題文

出典：ILO/UNESCO「教員の地位に関する勧告」（1966年10月5日。教員の地位に関する特別政府間会議採択。日本政府仮訳。原文：ILO/UNESCO, *Recommendation concerning the Status of Teachers*）

問1 下線部(1)および下線部(2)の内容が教員の責務および教員の権利として重要だとされるのはなぜか。あなたの考えを述べなさい。

問2 下線部(1)および下線部(2)の内容に照らして、現代の生涯学習の課題は何か。論じなさい。

問題2 現代の大学の教育課程制度の課題について、国際比較の視点から論じなさい。

問題3 次の語句のなかから二つを選んで説明しなさい。選択した問題番号を明記すること。

1. 高等教育の無償化
2. 大学入学資格
3. 大学評価
4. 大学のフンボルト理念

平成30年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

産業教育

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 社会的不平等・格差と教育の関係について論じなさい。

問題2 日本の製造業関連分野の中小企業の特徴について述べよ。

問題3 次の事項の中から3つを選んで説明しなさい。選択した問題番号を解答用紙に明記すること。

- ① 日産争議
- ② 積極的労働力政策
- ③ トライアル雇用
- ④ 「少年職業紹介ニ関スル件」
- ⑤ 講座派

平成 30 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

職業キャリア教育論

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 社会的不平等・格差と教育の関係について論じなさい。

問題 2 日本または中国において大学生の就職環境が厳しい理由を様々な観点から論じなさい。

問題 3 次の 7 つの語句の中から 3 つを選んで簡潔に説明しなさい。選択した語句の番号を明記すること。

1. 働き方改革
2. OJT
3. 人的資本論
4. ペティ・クラークの法則
5. SSM 調査
6. 21 世紀型能力
7. 社会人基礎力

平成 30 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

職業能力形成論

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 社会的不平等・格差と教育の関係について論じなさい。

問題 2 ①職能資格制度について説明したうえで、②職能資格制度によって具体化される能力主義管理の長所と短所を述べなさい。

問題 3 次の事項のなかから 3 つを選んで説明しなさい。選択した問題番号を解答用紙に明記すること。

- ① O J T
- ② コンピテンシー
- ③ 新規学卒一括採用
- ④ 男女雇用機会均等法
- ⑤ 労働三権

平成 30 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

教育福祉論

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 社会的不平等・格差と教育の関係について論じなさい。

問題 2 イギリスの社会政策学者である P・タウンゼントと日本の社会政策学者である江口英一の業績を紹介した上で、それらが今日の貧困を研究する際にもつ意味について論じなさい。

問題 3 以下の 4 つのことがら・人名から 2 つを選んで、それぞれ簡潔に解説した上で、関連する諸問題について論述しなさい。その際選択した番号を明記すること。

- 1) 新しい社会的養育ビジョン
- 2) 小川利夫
- 3) 児童福祉法
- 4) ジェンダー

平成30年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

教育社会学

以下の問題のすべてに答えなさい。

(250点満点)

問題1 社会的不平等・格差と教育の関係について論じなさい。

問題2 学歴社会における属性と業績について論述しなさい。

問題3 次の語句の中から、2つを選び説明しなさい（選択したものを明記すること）。

- ①ジェンダー・トラック
- ②制度化された文化資本
- ③能力の社会的構成
- ④言語コード理論



平成 30 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

学習・授業論

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 あなたがもっとも影響を受けた心理学ないし近接領域の研究や理論を 1 つ挙げ、その内容と意義および限界について述べなさい。

問題 2 子どもが授業の中で主体的に学んでいると思われる場面を一つ想定し、その場面を具体的に記述した上で、子どものどのような姿を「主体的に学んでいる」と判断するかを説明しなさい。

問題 3 子どもの主体的な学びと民主主義の関係について論じなさい。

平成 30 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

学習神経心理学

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 あなたがもっとも影響を受けた心理学ないし近接領域の研究や理論を 1 つ挙げ、その内容と意義および限界について述べなさい。

問題 2 次の用語の中から 3 つ選び、簡潔に説明しなさい。選択した用語を明記すること。

音韻認識, 遅延報酬, 合理的配慮, Visual Word Form Area,  
Response to Intervention モデル, 読字の二重経路モデル

問題 3 発達障害や学習障害などの支援において、認知機能や脳機能の観点から検討を行うことの意義と、その問題点・注意点について、あなたの考えを述べなさい。認知機能や脳機能の例を挙げて論じること。

平成 30 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

言語発達論

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 あなたがもっとも影響を受けた心理学ないし近接領域の研究や理論を 1 つ挙げ、その内容と意義および限界について述べなさい。

問題 2 以下の 6 つの用語から 3 つを選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。解答の際には、いずれの用語を選んだかが分かるように記述すること。

- (1) コホート研究 (cohort study)
- (2) 過剰般化 (overgeneralization)
- (3) 養育態度 (child-rearing attitude)
- (4) 半構造化面接 (semi-structured interview)
- (5) コンピテンス (competence)
- (6) メタ認知 (meta cognition)

問題 3 乳幼児期の言語発達を研究する上で、子どもの周囲にいる人々がおよぼす影響を考慮することは重要である。そうした人々のうち、「きょうだい」がおよぼす影響について考えられることを論じなさい。

平成 30 年度 大学院教育学院 修士課程 第 2 次入学試験問題

乳幼児発達論

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 あなたがもっとも影響を受けた心理学ないし近接領域の研究や理論を 1 つ挙げ、その内容と意義および限界について述べなさい。

問題 2 以下の 6 つの用語から 3 つ を選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。解答の際には、いずれの用語を選んだかが分かるように記述すること。

- (1) コホート研究 (cohort study)
- (2) 過剰般化 (overgeneralization)
- (3) 養育態度 (child-rearing attitude)
- (4) 半構造化面接 (semi-structured interview)
- (5) コンピテンス (competence)
- (6) メタ認知 (meta cognition)

問題 3 子どもの発達における父親の役割について、これまでの研究で指摘されていることを取上げながらあなたの考えを述べなさい。

平成 30 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

発達心理学

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 あなたがもっとも影響を受けた心理学ないし近接領域の研究や理論を 1 つ挙げ、その内容と意義および限界について述べなさい。

問題 2 以下の 6 つの用語から 3 つを選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。解答の際には、いずれの用語を選んだかが分かるように記述すること。

- (1) コホート研究 (cohort study)
- (2) 過剰般化 (overgeneralization)
- (3) 養育態度 (child-rearing attitude)
- (4) 半構造化面接 (semi-structured interview)
- (5) コンピテンス (competence)
- (6) メタ認知 (meta cognition)

問題 3 思春期・青年期の発達をふまえ、教育との関係で重要となる点について論じなさい。

平成 30 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

運動生理学

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 健康と体力の関係を行動要素（狭義の体力）と防衛要素（耐病性、回復力など）の点から論述しなさい。

問題 2 運動時のエネルギー（ATP）供給機構について説明しなさい。

問題 3 運動時の乳酸産生と疲労の関係について、最近の研究知見も踏まえて説明しなさい。

平成30年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

身体文化論

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 大正期に存在した「自由体育」の実践に触れながら、近代体育とファシズムの関係について解説しなさい。

問題2 次に示す用語から1つを選び、体育・スポーツの観点から簡潔に説明しなさい。選択した問題番号を明記のこと。

1. フェミニズム
2. ジェンダー

問題3 以下の文章を読み、「健康と近代」と題する小論を作成し、自らの考えを述べなさい。(出典：富永茂樹『健康論序説』河出書房新社、1977年、122頁)

## 平成 30 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

### 身体教育学

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 戦後からの学習指導要領の歴史的変遷を説明した上で、今回改訂（平成 29 年 3 月公示）された新学習指導要領（小学校）のポイントについて述べなさい。また、今回の改訂以後、求められている小学校の体育授業のあり方とは何か、あなたの考えを述べなさい。

問題 2 近年、ランニングブームの影響から、週 20 キロ以上走るランナーも少なくないと言われている。ところが、週 20 キロ以上走るランナーの 80%程度が 1 年以内に何らかのスポーツ障害を発症するとも言われ、“ランニングエコノミー”（走の経済性）を担保したフォームの重要性が指摘されている。そこで、“ランニングエコノミー”（走の経済性）を担保するフォームのあり方について、あなたの考えを述べなさい。



平成30年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

多元文化教育論

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。解答はすべて異なる用紙を用いること。

問題1 移民や難民の受け入れは世界的に大きな問題であるが、「多文化共生」の理念を支持する人々の間でも、受け入れについては賛否が分かれる。それぞれの論の内容を示した上で、あなたの考え（賛成・反対）を自由に述べなさい。

問題2 日本では、農村などに残る伝統的な習慣や芸能が、過疎化や都市化の進行とともに急速に廃れつつある。この状況にいかに対処すべきか。あなたの国・地域の現状と比較しつつ自由に論じなさい。

問題3 次の問題の中から1問を選んで答えなさい。選択した問題番号を明記のこと。

1. 異なる文化やその諸現象を比較研究する意義と、その際注意すべきことを述べなさい。
2. 学校における多文化教育の現状と課題を述べなさい。(対象国・地域は自由とする。)
3. 「マイノリティ」問題の現状と課題を述べなさい。(取り上げる対象は自由とする。)
4. 「多元文化社会を実現しなければ少子高齢化と人口の減少は止められない」という主張がある。これに対するあなたの考え（賛成・反対）を自由に述べなさい。
5. ヨーロッパではすでに歴史などの科目で複数の国が統一教科書を使用している。これについて、自分の国と周辺諸国の状況を考慮しつつ、あなたの考えを自由に述べなさい。